



## 2026年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月10日

上場会社名 株式会社ベストワンドットコム 上場取引所 東  
 コード番号 6577 URL <http://www.best1cruise-corp.info/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野本 洋平  
 問合せ先責任者(役職名) 上級執行役員経営企画部長 (氏名) 国門 量祐 TEL 03-5312-6247  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年7月期第3四半期の連結業績(2025年8月1日~2026年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	1,443	△7.9	△35	—	△39	—	△42	—
2025年7月期第3四半期	1,566	△22.6	△39	—	△50	—	△53	—

(注) 包括利益 2026年7月期第3四半期 △48百万円(—%) 2025年7月期第3四半期 △54百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	△28.29	—
2025年7月期第3四半期	△35.65	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期第3四半期	4,557	1,072	23.4
2025年7月期	4,012	1,147	28.4

(参考) 自己資本 2026年7月期第3四半期 1,064百万円 2025年7月期 1,140百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2026年7月期	—	0.00	—	—	—
2026年7月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2026年7月期の連結業績予想(2025年8月1日~2026年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	12.0	310	961.9	300	976.0	230	2,316.2	152.23
	~3,050	~19.9	~350	~1,098.9	~340	~1,119.4	~260	~2,631.4	~172.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8頁「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年7月期3Q	1,524,700株	2025年7月期	1,524,700株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年7月期3Q	13,816株	2025年7月期	13,816株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年7月期3Q	1,510,884株	2025年7月期3Q	1,508,347株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご了承ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年8月1日から2026年4月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調で推移した一方、物価上昇の継続や為替・地政学リスク等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

クルーズ業界におきましては、世界的なクルーズ人口の拡大が続いており、CLIA（国際クルーズ協会）の見通しでは2029年に世界のクルーズ人口は4,210万人に達すると予測されるなど、市場は中長期的な成長局面にあります。国内においても、日本人のクルーズ人口は2025年の約24.3万人から2030年に約100万人への拡大が見込まれており、需要の裾野は着実に広がっています。

このような環境のもと、当社グループは「クルーズをもっと身近に」という方針のもと、Webマーケティングを軸とした集客力の強化と、付加価値の高いチャータークルーズ・テーマ性のある企画クルーズの拡充に取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間においても集客基盤は着実に拡大しています。

販売面では、ゴールデンウィーク発のチャータークルーズをはじめとする先付け案件の受注獲得に向けて、広告宣伝への先行投資を実施いたしました。これにより販売費及び一般管理費は前年同期比で増加したものの、採算性の高い案件構成や仕入条件の改善等により売上原価率が改善し、売上総利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,443,348千円（前年同期比7.9%減）、営業損失35,369千円（前年同期は営業損失39,779千円）、経常損失39,484千円（前年同期は経常損失50,377千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失42,742千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失53,776千円）となりました。売上高は前年同期を下回ったものの、収益性の改善により各段階損益はいずれも前年同期から損失幅が縮小いたしました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <旅行業>

クルーズ販売を中核とする旅行業におきましては、ゴールデンウィーク発のチャータークルーズ等の先付け案件の獲得に向けて広告宣伝の先行投資を継続する一方、案件構成の見直しや仕入条件の改善により採算性が向上いたしました。この結果、売上高は1,422,370千円（前年同期比7.5%減）、セグメント損失（営業損失）は42,485千円（前年同期はセグメント損失47,490千円）となり、減収ながら損失幅は縮小いたしました。

#### <その他事業>

子会社のえびす旅館におきましては、引き続きインバウンド需要が継続しており、ADR（客室平均単価）、稼働率が想定通りに推移しております。

この結果、売上高は20,977千円（前年同期比25.5%減）、セグメント利益（営業利益）は7,116千円（同7.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて545,186千円増加し、4,557,766千円となりました。これは主に、現金及び預金が242,912千円、その他流動資産が127,975千円減少した一方で、旅行前払金が687,821千円、投資有価証券が215,631千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べて619,595千円増加し、3,485,136千円となりました。これは主に、長期借入金が272,392千円、株主優待引当金が32,560千円減少した一方で、契約負債が913,359千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて74,409千円減少し、1,072,630千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金69,938千円減少したことによるものであります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年9月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2026年6月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,503,182	2,260,269
旅行前払金	674,915	1,362,737
未収入金	125,830	124,836
その他	151,379	23,404
流動資産合計	3,455,308	3,771,247
固定資産		
有形固定資産	132,656	140,369
無形固定資産		
のれん	29,254	26,493
その他	96,935	100,971
無形固定資産合計	126,190	127,464
投資その他の資産	296,672	517,840
固定資産合計	555,519	785,674
繰延資産	1,751	844
資産合計	4,012,580	4,557,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	490,561	470,331
未払金	10,192	19,871
未払法人税等	6,529	799
賞与引当金	-	2,750
役員賞与引当金	-	7,575
契約負債	666,552	1,579,911
その他	51,902	16,219
流動負債合計	1,225,737	2,097,458
固定負債		
長期借入金	1,628,558	1,376,396
その他	11,243	11,280
固定負債合計	1,639,802	1,387,677
負債合計	2,865,540	3,485,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,405	570,405
資本剰余金	486,905	486,905
利益剰余金	119,526	49,587
自己株式	△35,362	△35,362
株主資本合計	1,141,475	1,071,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,205	△6,700
その他の包括利益累計額合計	△1,205	△6,700
新株予約権	6,770	7,793
純資産合計	1,147,039	1,072,630
負債純資産合計	4,012,580	4,557,766

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年8月1日 至2026年4月30日)
売上高	1,566,553	1,443,348
売上原価	1,272,033	1,110,267
売上総利益	294,519	333,080
販売費及び一般管理費	334,299	368,450
営業損失(△)	△39,779	△35,369
営業外収益		
受取利息	1,969	5,711
為替差益	—	10,814
受取配当金	0	0
投資有価証券償還益	172	—
ポイント収入額	1,991	1,126
その他	189	1,270
営業外収益合計	4,323	18,924
営業外費用		
支払利息	9,143	17,321
為替差損	33	—
新株予約権発行費償却	1,244	907
投資事業組合運用損	4,500	4,376
その他	—	433
営業外費用合計	14,921	23,039
経常損失(△)	△50,377	△39,484
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,549
特別利益合計	—	1,549
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,377	△37,935
法人税等	3,399	4,806
四半期純損失(△)	△53,776	△42,742
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△53,776	△42,742

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
四半期純損失(△)	△53,776	△42,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△308	△5,494
その他の包括利益合計	△308	△5,494
四半期包括利益	△54,084	△48,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,084	△48,236
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
税金費用の計算	<p>税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p> <p>ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。</p>

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	旅行業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,538,405	28,147	1,566,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,538,405	28,147	1,566,553
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△47,490	7,711	△39,779

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

当第3連結累計期間(自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	旅行業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,422,370	20,977	1,443,348
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,422,370	20,977	1,443,348
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△42,485	7,116	△35,369

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、旅行業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しておりましたが、開示情報としての重要性が増したため「旅行業」及び「その他事業」を報告セグメントとしてセグメント情報を開示しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	14,269千円	15,858千円
のれん償却費	2,760千円	2,760千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。